

Data & Information

入試ハンドブック 2025

Japanese Red Cross College of Nursing
GRADUATE SCHOOL

日本赤十字看護大学 大学院



目次

2025年度入学者選抜試験日程	1
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	2
2025年度入学者選抜試験概要	
修士課程【看護学専攻】	3
修士課程【国際保健助産学専攻】	4
修士課程個別入学資格審査	5
博士後期課程【看護学専攻】	6
Information	7
I . 入試結果について（過去3年間）	7
II . 学生募集要項・過去問題について	7
III . 大学院説明会について（オンライン開催）	8
IV . 事前相談について	8
V . 入学検定料・入学金の割引制度について	8
VI . 教育訓練給付金制度について	8
学費	9
奨学金制度	10
Q&A	11

2025年度 入学者選抜試験日程

入試日程

試験名	課程	専攻	出願期間 (最終日の消印有効)	試験日	合格発表	手続期間 (最終日の消印有効)
8月入試	修士課程	看護学専攻	2024年 7月12日(金)～ 7月25日(木)	8月22日(木)	8月29日(木)	8月30日(金)～ 9月6日(金)
		国際保健助産学専攻				
	博士後期課程	看護学専攻				
12月入試	修士課程	看護学専攻	2024年 11月7日(木)～ 11月14日(木)	12月14日(土)	12月19日(木)	12月20日(金)～ 12月27日(金)
		国際保健助産学専攻				
	博士後期課程	看護学専攻				
2月入試	修士課程	看護学専攻	2025年 1月24日(金)～ 2月3日(月)	2025年 2月26日(水)	2025年 2月27日(木)	2025年 2月28日(金)～ 3月7日(金)
		国際保健助産学専攻				
	博士後期課程	看護学専攻				

※ 8月入試で定員に達した場合は、12月以降の入試を実施しないことがあります。

※ 修士課程看護学専攻では、本学卒業生を対象とした卒業生大学院特別選考も実施しています。詳細は入試係にお問い合わせください。

※ 修士課程国際保健助産学専攻では、本学在学学生を対象とした学内推薦入試も実施しています。詳細は入試係にお問い合わせください。

個別入学資格審査日程(修士課程)

実施回	申請期間	審査日
第1回	2024年 5月20日(月)～ 5月27日(月)	6月5日(水)
第2回	2024年 9月13日(金)～ 9月20日(金)	10月2日(水)

※ 結果は審査日から1週間程度で通知します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

修士課程看護学専攻

本専攻では、幅広い視点で看護の現象を捉え、人々の尊厳と権利を尊重した高い倫理観とともに、高度な看護実践能力や基礎的研究能力のもと、様々な課題を探究することで看護学の発展と人々の健康に貢献できる看護専門職を育成することを目指しています。そのために、次のような学生を求めます。

1. 看護をはじめとする実践で得た体験を大切に、看護学の探究を志す人
2. 赤十字の理念である人道（Humanity）に共感し、一人ひとりを大切に、人々の尊厳を守る実践・教育・研究を志す人
3. 自らの意見を持ち、かつ柔軟に他者の意見に耳を傾けることのできる人
4. 論理的にものごとを考え課題を探究する基礎的な力を有している人

修士課程国際保健助産学専攻

本専攻では、幅広い視点で国際保健助産の現象を捉え、人々の尊厳と権利を尊重した高い倫理観とともに、高度な助産実践能力や基礎的研究能力のもと、様々な課題を探究することで国際保健助産学の発展と人々の健康に貢献できる専門職を育成することを目指しています。そのために、次のような学生を求めます。

1. 看護をはじめとする実践で得た体験を大切に、看護学の探究を志す人
2. 赤十字の理念である人道（Humanity）に共感し、一人ひとりを大切に、人々の尊厳を守ることを志す人
3. 自らの意見を持ち、かつ柔軟に他者の意見に耳を傾けることのできる人
4. 論理的にものごとを考え課題を探究する基礎的な力を有している人
5. 世界的視野からものごとを考えることを志す人
6. 専門職者として人間形成を志す人

博士後期課程看護学専攻

博士後期課程では、看護学における深い学識や高度な実践能力とともに、卓越した専門性と倫理観に基づき人々の健康に貢献しうる研究を自立して行う能力を持ち、世界的・学際的に看護学の発展を牽引できる看護専門職を育成することを目指しています。そのために、次のような学生を求めます。

1. 看護における現象を幅広い視点から省察し、看護学を探究できる人
2. 赤十字の理念である人道（Humanity）に共感し、高い倫理観を持ち、人々の尊厳と権利を擁護できる人
3. 看護学の発展に寄与する研究に取り組むための基礎的な力を有している人
4. 世界的・学際的視野から、ものごとを探究することを志す人
5. 新規性のあるテーマや課題に挑戦する意欲を有している人

※アドミッション・ポリシーは抜粋して掲載しています。全文は本学ホームページをご覧ください。

※カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは本学ホームページをご覧ください。

2025年度入学者選抜試験概要

修士課程【看護学専攻】

定員 32名

領域

基礎看護学、がん看護学、小児看護学、成人看護学（慢性看護学／クリティカルケア看護学）、老年看護学、精神保健看護学、地域看護学、看護教育学、看護管理学、国際・災害看護学

※第2志望制度を利用して1回の受験で2つの領域に出願することができます。

※8月入試で定員に達した場合は、12月以降の入試を実施しないことがあります。

出願資格（抜粋）※見込・予定を含む

- ・大学を卒業した者
- ・大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ・外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ・文部科学大臣の指定した者
- ・指定された専修学校の専門課程を修了した者
- ・本学大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者

※出願資格は必ず学生募集要項にて確認してください。

試験科目

- ・看護専門科目
 - ・共通問題（一部英語（出題文を英語、設問と解答は日本語）を含む）
 - ・選択問題
- ・面接

※看護専門科目、共通問題（一部英語を含む）において、紙の英和辞典1冊の持ち込みを認めます。詳細は本学ホームページ、学生募集要項等をご確認ください。

修士課程【国際保健助産学専攻】

定員 15名

コース

研究コース、実践コース

出願資格(抜粋) ※見込・予定を含む

- ・大学を卒業した者
- ・大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- ・外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ・文部科学大臣の指定した者
- ・指定された専修学校の専門課程を修了した者
- ・本学大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者

※出願資格は必ず学生募集要項にて確認してください。

※実践コースは入学時に看護師免許が必要です。看護師国家試験に不合格の場合、入学許可が取り消されます。

試験科目

- ・看護専門科目
- ・英語 (TOEFL ITP Level 1 ・TOEFL iBT いずれかのスコアを利用)
- ・面接

※英語試験のスコアに関する詳細は大学ホームページをご覧ください。

修士課程個別入学資格審査

本学大学院看護学研究科修士課程へ入学を志願する者のうち、出願資格「本学大学院において、個別の入学資格により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者」により出願する者について、入学資格審査を実施します。

申請資格

次の(1)～(3)のすべてを満たしている者

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 看護系短期大学、専修学校、各種学校、高等学校専攻科の卒業生で、看護師資格を有している者
- (3) 看護職として5年以上の実務経験がある者

※(2)は国内の看護師養成機関に限る。

ただし、(1)～(3)のすべてに該当し、下記のいずれかの免除条件を満たした者は、個別入学資格審査を免除する。

- ・保健師助産師看護師学校養成所指定規則第2条もしくは第3条の養成所を修了し、保健師もしくは助産師の資格を有する者。
- ・看護教員養成課程（厚生労働省、日本看護協会、都道府県など公共またはそれと同等となる機関の6ヶ月以上の研修学校）を修了した者。
- ・認定看護師もしくは認定看護管理者の資格を取得した者（更新の有無は問わない）。

審査内容

- ・小論文
- ・提出書類

博士後期課程【看護学専攻】

定員 10名

領域

基礎看護学、母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神保健看護学、地域看護学、国際・災害看護学、看護教育学、看護管理学

※8月入試で定員に達した場合は、12月以降の入試を実施しないことがあります。

出願資格(抜粋) ※見込・予定を含む

- ・修士の学位を有する者
- ・外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- ・外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ・文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- ・本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた24歳以上の者

※出願資格は必ず学生募集要項にて確認してください。

試験科目

- ・英語
- ・看護専門科目
- ・面接

入学試験日から遡り2年以内に受験した TOEFL iBT テストにおいて、Reading、Listening、Writing、Speaking の4分野合計得点が55点以上の者については、英語の試験を免除します。ただし、出願期間終了までに TOEFL iBT テストの公式スコア (Official Score Reports) が本学に到着するように手続きをしてください。

Information

I. 入試結果について（過去3年間）

修士課程 看護学専攻

	2024 年度	2023 年度	2022 年度
志願者数	42	44	51
受験者数	41	44	50
合格者数	30	29	31
備考	8月・12月・2月 入試実施	8月・12月・3月 入試実施	8月・12月・3月 入試実施

修士課程 国際保健助産学専攻

	2024 年度	2023 年度	2022 年度
志願者数	32	48	37
受験者数	30	45	37
合格者数	17	20	16
備考	学内推薦・8月 入試実施	学内推薦・8月 入試実施	学内推薦・8月・12月 入試実施

博士後期課程 看護学専攻

	2024 年度	2023 年度	2022 年度
志願者数	6	8	8
受験者数	6	8	8
合格者数	2	7	5
備考	8月・12月 入試実施	8月・12月 入試実施	8月・12月・3月 入試実施

II. 学生募集要項・過去問題について

1. 学生募集要項

2025年度学生募集要項は、本学ホームページに順次公開します。

本学所定の出願書類は、本学ホームページからダウンロードし、印刷してください。

2. 過去問題

修士課程および博士後期課程の過去問題は本学図書館（広尾館・大宮館）で閲覧・メモが可能です。閲覧にあたっては事前予約が必要です。本学ホームページをご確認ください。ただし、個別入学資格審査の問題は公表していません。

※閲覧方法に関する最新情報は、本学ホームページをご覧ください。

※著作権の関係から引用文は掲載していないPDF版のダウンロードの請求を本学ホームページの「過去問題（大学院）請求フォーム」で受け付けています。



図書館での閲覧
予約



過去問題請求
フォーム

Ⅲ. 大学院説明会について（オンライン開催 ※6/1のみ広尾キャンパス対面）

受験生の皆さんだけでなく、大学1・2・3年生、看護職の方、社会人の方、そして本大学院に関心があるすべての方のご参加をお待ちしています。

開催日	開催方法	開催時間
6月1日（土）	広尾キャンパス対面	16:00 - 17:25
6月18日（火）	zoom	18:10 - 19:20
7月2日（火）		
9月27日（金）		
10月29日（火）		



大学院説明会

※本学ホームページの申し込みフォームから事前申込をしてください。

Ⅳ. 事前相談について

大学院入試では、入学後のミスマッチを防ぐため、出願前に教員との事前相談が必要です。

事前相談に関する詳細は、本学ホームページで確認してください。

事前相談する教員を選ぶことができない場合や連絡が取れない場合は、入学課にお問い合わせください。



事前相談

Ⅴ. 入学検定料・入学金の割引制度について

大学院入試では、本学の卒業生・修了生や日本赤十字社各施設に勤める方等を対象に入学検定料と入学金の割引制度を実施しています。

対象者および適用条件は以下のとおりです。

対象者	条件	入学検定料	入学金
本学の在学生・卒業生・修了生	本学を卒業・修了（見込を含む）し、合格した場合に入学を確約できる方	40,000円 →20,000円	400,000円 →200,000円
赤十字・実習施設に所属する職員	出願時に、日本赤十字社各施設・日本赤十字学園構成6大学・前年度の本学実習施設のいずれかに所属する専任職員	40,000円 →20,000円	400,000円 →300,000円

Ⅵ. 教育訓練給付金制度について

本学大学院の以下のコースでは、厚生労働大臣より「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）」の対象講座として指定を受けています。教育訓練給付制度についての詳細は、お近くのハローワーク（公共職業安定所）でご確認ください。

- ・看護学研究科修士課程看護学専攻専門看護師（CNS）コース
- ・看護学研究科修士課程看護学専攻実践コース（看護教育学/看護管理学）
- ・看護学研究科修士課程国際保健助産学専攻実践コース

※長期履修制度との併用はできません。

学費

学生納付金は表のとおりです。入学手続き時の納入金額は、入学金の40万円です。授業料等は、毎年度所定の期日までに「一括」または「前期と後期の分納」で納入することとなります。（参考：2024年度納入金額）

修士課程

	納入金額		納入時期
	1年次	2年次	
入学金	400,000円	—	入学手続き時
授業料	1,200,000円	1,200,000円	4月に年額を全納または 4月10日に半額ずつ分納
実験実習費	150,000円	150,000円	
維持運営費	150,000円	150,000円	
合計	1,900,000円	1,500,000円	

修士課程長期履修制度における納付金額一覧〔修士課程看護学専攻、国際保健助産学専攻（研究コース）〕

	納入金額			納入時期
	1年次	2年次	3年次	
入学金	400,000円	—	—	入学手続き時
授業料	830,000円	830,000円	830,000円	4月に年額を全納または 4月10日に半額ずつ分納
実験実習費	100,000円	100,000円	100,000円	
維持運営費	100,000円	100,000円	100,000円	
合計	1,430,000円	1,030,000円	1,030,000円	

博士後期課程

	納入金額			納入時期
	1年次	2年次	3年次	
入学金	400,000円	—	—	入学手続き時
授業料	1,200,000円	1,200,000円	1,200,000円	4月に年額を全納または 4月10日に半額ずつ分納
維持運営費	300,000円	300,000円	300,000円	
合計	1,900,000円	1,500,000円	1,500,000円	

博士後期課程長期履修制度における納付金額一覧

	納入金額				納入時期
	1年次	2年次	3年次	4年次	
入学金	400,000円	—	—	—	入学手続き時
授業料	920,000円	920,000円	920,000円	920,000円	4月に年額を全納または 4月10日に半額ずつ分納
維持運営費	235,000円	235,000円	235,000円	235,000円	
合計	1,555,000円	1,155,000円	1,155,000円	1,155,000円	

大学院共通

- ・ 授業料、実験実習費、維持運営費は、年額の2分の1に分割し、前期分・後期分として納入することが可能です。
- ・ 休学が前期または後期の全期間にわたる者については、当該学期の学納金に替えて、在籍料として当該学期ごとに5万円を納入しなければなりません。なお、学期の途中で休学した場合は、当該学期の学納金は全額納入しなければなりません。
- ・ 傷害・総合保険（日本看護学校協議会共済会「Will」）は、学生の学内外における大学の正規授業や課外活動等での事故等に対応した保険です。この保険は学生全員が加入します。保険料は、年額4,500円です。なお、保険料は延納できませんので、納入期日（毎年4月末）までに納入してください。
- ・ その他、履修する科目に教科書が指定されている場合は別途教科書代が必要となります。（各自、本学生協等にて購入）
- ・ 入学辞退の申し出があった場合においても、入学金は返還しません。
- ・ 上記の学納金等は、事情により改定する場合があります。

修士課程

- ・ 長期履修制度による入学者該当：3年間で必要な単位を修得できず、4年目（最終年）も在籍することになった場合、4年目は、通常履修の1年分の学納金等（学納金150万円、保険料4,500円）を納入することになります。

博士後期課程

- ・ 標準修業年限（3年）を超える在学者のうち、所定の単位を修得し、かつ、博士論文研究計画書審査に合格している者は、学納金については、年額50万円の授業料のみの納入となります。
- ・ 長期履修制度による入学者該当：4年間で必要な単位を修得できず、5年目（最終年）も在籍することとなった場合、5年目は、通常履修の1年分の学納金等（学納金150万円、保険料4,500円）を納入することになります。

奨学金制度

奨学金は、経済的理由により修学困難な学生に学業継続を援助するための制度です。奨学金の種類によっては併用できないものもあります。

奨学生の募集、申請の時期、必要な提出書類等については入学後に説明をします。本学で扱う主な奨学金制度は下記のとおりです。なお、奨学金の詳細は、本学ホームページをご確認ください。

受給状況（2023年度）

松下清子記念教育・研究及び奨学金	26人
日本学生支援機構	3人
東京都看護師等修学資金	14人
その他（財団等）	9人

伊藤・有馬記念基金奨学金（給付）

学納金の負担軽減を目的とした本学独自の奨学金制度で、年度ごとに申請でき経済状況により選考されます。

種類	給付（年額）
学生奨学金	20万円以内
学生外国留学奨励金	10万円以内

日本学生支援機構（貸与）

学業成績及び家庭の経済状況（収入基準あり）により、学内の「奨学生選考基準」に従い推薦します。原則毎年4月～5月に募集し、推薦者を大学でとりまとめて申請をしています。

(1) 奨学生の種類及び貸与金額

種類	給付（年額）
①第一種（無利子）	5万円もしくは88,000円（修士） 8万円もしくは122,000円（博士）
②第二種（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円 のうち希望額を選択 ※在学中は無利子

(2) その他

失職・災害等による家計急変の場合には緊急採用、応用採用もあります。

(3) 授業料後払い制度について

2024年度より、国の施策により、大学院修士課程を対象に「授業料後払い制度」が創設される予定です。本制度は、経済的に厳しい状況にある学生等が、進学・修学を断念することがないように、在学中の授業料を国が立て替え、返還は卒業・修了後の所得に応じて「後払い」とする仕組みです。

(4) 「特に優れた業績による返還免除」について

大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または半額を返還免除する制度です。

大獄康子記念奨学金（給付）

学納金の負担軽減を目的とした本学独自の奨学金制度で、経済的理由のため修学が困難な学生に給付されます（20万円以内）。年度ごとに申請できます。

松下清子記念教育・研究及び奨学金（給付）

学納金の負担軽減を目的とした本学独自の奨学金制度で、経済的理由により修学困難な学生に給付されます（15万円以内）。年度ごとに申請できます。

松下清子記念奨学金（海外研修・国際交流支援）

海外研修・国際交流等に参加する者のうち、経済的理由により自費での参加が困難な学生に給付されます（20万円以内）。年度ごとに申請できます。

東京都看護師等修学資金（貸与）

東京都看護師等修学資金は、看護師等養成施設等に在学し、将来都内で看護業務に従事する意思がある方に対し、修学資金を貸与（貸付）することにより修学を容易にし、都内の看護職員の確保等を図ることを目的とした制度です。

(1) 貸与月額

25,000円、50,000円、75,000円、100,000円

※いずれか1つ

(2) 返還免除

免除要件を満たした場合は、申請により貸与を受けた修学資金の返還額の全部または一部の免除が受けられます。

詳細は、東京都看護師等修学資金のホームページ等をご参照ください。

その他の奨学金

学校法人日本赤十字学園大規模災害被災学生奨学費 [適用災害につき1回限り]

授業料減免措置
(半期授業料上限)

一般財団法人日本赤十字社看護師同方会奨学資金（貸与）……………大学院：一時金として100万円以内

日本赤十字看護大学同窓会奨学金（貸与）[在学中1回限り]……………50万円

各道府県看護師等修学資金（東京都看護師等修学資金とは併用不可）……………詳細は各道府県ホームページを参照

木村教育振興財団専門看護師（CNS）奨学助成（修士2年対象専門看護師）……………年額60万円

国際看護師協会東京大会記念奨学金（貸与）……………詳細は日本看護協会のホームページを参照

Q&A

大学院説明会等で、よく聞かれる内容を紹介します。

出願について

Q. 大学院の受験を検討しているのですが、何から始めればいいのか教えてください。

A. まずは大学案内や本学ホームページで関心のある課程・専攻・領域のページを読み、担当教員の研究業績やプロフィールなどを調べ、自分の学びたいこと・研究していきたいことができそうかを確認してください。

大学院の概要や制度についてより詳しく知っていただくには、受験を検討する過程で「大学院説明会」に参加することをお勧めします。

Q. 出願までの流れを教えてください。

A. 出願前に、必ず受験を希望する専門領域の教員との事前相談をお願いしています。出願書類として必要な証明書類は発行に時間を要する場合があります。予め必要書類を確認し、発行手続きをしておくとう安心です。

Q. 学生募集要項の入手方法を教えてください。

A. 本学ホームページから、学生募集要項および出願書類をダウンロードできます。冊子の配布はしていません。

Q. 看護大学を卒業していなくても大学院の修士課程を受験できますか？

A. 看護系以外の大学でも、学士の学位を取得していれば出願資格に該当します。

学士の学位を取得していない場合も、高等学校卒業後、看護系の学校を卒業し、看護師の資格を持ち、5年以上の実務経験がある場合には「個別入学資格審査」を受けて出願資格を得ることができます。詳しくは5ページ「修士課程個別入学資格審査」をご確認ください。

Q. 日本の大学に在学中の留学生ですが、「外国人入試」はありますか？

A. 「外国人入試」は実施していません。

Q. 大学院入試の過去問題は入手できますか？

A. 広尾キャンパス・大宮キャンパス図書館内で閲覧・メモが可能です。詳しくは7ページをご参照ください。また、最新の情報は本学ホームページの案内を確認してください。

進路・奨学金について

Q. 現在、大学4年生です。卒業後すぐに大学院に進学することは可能ですか？

A. 修士課程国際保健助産学専攻の実践コースでは、助産師資格の取得を目指す方を募集していますので、例年大学卒業見込で受験する方が一定数います。一方、修士課程看護学専攻および国際保健助産学専攻の研究コースでは実践を重視した研究活動と専門看護職者の養成を行っています。大学卒業見込みでも受験は可能ですが、ゼミでも実践経験に基づく看護の現象や問題が具体的に論じられることが多いため、大学卒業後、臨床経験を積んで受験する方が多数です。

Q. 大学院を修了された方は、どのような仕事についているのですか？

A. 修士課程を修了された方の中には、大学院で学んだことをもとに看護実践の場に戻ってより高度な看護を提供する専門看護職者として勤務する方、大学などの教員となり教育・研究者となる方、さらに博士後期課程に進学する方などがいます。

博士後期課程の場合、修了後に教育・研究者となる方が多いですが、病院で専門看護師として働く方もいます。

Q. 修士課程修了後、日本看護協会に専門看護師の認定申請ができる専門分野を教えてください。

A. 本学では、がん看護・小児看護・慢性看護・クリティカルケア看護・老年看護・精神看護・在宅看護・災害看護の8分野が38単位の専門看護師教育課程として認定されています。

Q. 大学院で奨学金を受けたいのですが、どんな制度がありますか？

A. 奨学金には貸与型と給付型があります。種類については10ページを参照し、貸与型の場合は返還についてよく検討した上で申し込んでください。入学後、4月のガイダンスで必要書類や申し込み方法等の詳細について資料を配付しています。

なお、本学ホームページにて奨学金説明の動画が視聴できるほか、「大学院ファイナンシャル・プラン」として情報を集約しているのでご参照ください。

仕事と学業の両立について

Q. 働きながら大学院修士課程で学びたいのですが、可能でしょうか？

A. 修士課程では2年間のうちに講義・演習・実習の単位を取得し、修士論文をまとめる必要があります。特に最初の1年間は、履修により固定のスケジュールになることが多いです。そこで修士課程では、長期履修制度を取り入れています（国際保健助産学専攻の「実践コース」では申請できません）。勤務・介護・育児等により2年で教育課程を修了することが困難と思われる学生を対象に、履修期間を3年とする申請ができる制度です。入学前に申請が必要で、より計画的な履修が必要となるため、希望者は出願前に指導教員にご相談ください。入学後の変更については、1年次に1回のみ2年間への短縮を許可しています。

Q. 働きながら大学院博士後期課程で学びたいのですが、可能でしょうか？

A. 博士後期課程では仕事と学業を両立する学生が多いですが、仕事と研究の両立は厳しい面もあり、とくに学位論文を執筆するには集中した時間が必要となります。また、研究指導を受ける際、指導教員との予定調整にも負担がかかる可能性があることを考慮してください。

不安な点は、入学前に事前相談でしっかり話し合っておくことをお勧めします。優先順位を決め、奨学金も有効に活用しながら学修計画を立ててください。

なお、博士後期課程においても、長期履修制度を取り入れています。勤務・介護・育児等により3年で教育課程を修了することが困難と思われる学生を対象に、履修期間を4年とする申請ができる制度です。入学前に申請が必要で、より計画的な履修が必要となるため、希望者は出願前に指導教員にご相談ください。入学後の変更については、1年次に1回のみ3年間への短縮を許可しています。

TA・RA 制度について

Q. ティーチング・アシスタント (TA) 制度について教えてください。

A. 大学院生の皆さんに、実践的トレーニングの機会を提供する制度です。学業の妨げにならない範囲で、担当教授の指導・助言のもとに学部生に対する実習・演習等の教育補助業務を行います。報酬を支給し、経済的に支援しています。

Q. リサーチ・アシスタント (RA) 制度について教えてください

A. 本学における研究活動の効果的推進、研究体制の充実及び若手研究者の研究遂行能力を育成することを目的とした制度です。RAは本学において実施されるプロジェクト等に参画し、必要な研究補助を行います。TA同様、報酬を支給します。



広尾キャンパス

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

- 各路線渋谷駅から都営バス(学03)「日赤医療センター前」行 終点下車
- 各路線恵比寿駅から都営バス(学06)「日赤医療センター前」行 終点下車
- 東京メトロ日比谷線広尾駅から徒歩約15分

お問い合わせ

日本赤十字看護大学(広尾キャンパス) 入学課

電話:03(3409)0950

koho@redcross.ac.jp(大学院説明会)

nyushi@redcross.ac.jp(入試関係)

平日/9:00~17:00(土、日、祝日は休業)